

社会福祉法人すずめ福祉会定款

第1章 総 則

【目的】

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、次の社会福祉事業を行う。

（1）第二種社会福祉事業

（イ）障害福祉サービス事業の経営

① 多機能型事業所（生活介護と就労継続支援B型）

② 生活介護事業所

③ 共同生活援助

（ロ）特定・障害児・一般相談支援事業

【名称】

第2条 この法人は、社会福祉法人すずめ福祉会という。

【経営の原則等】

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる扱い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

【事務所の所在地】

第4条 この法人の事務所を高知県高知市丸池町1番1-15号に置く。

第2章 評議員

【評議員の定数】

第5条 この法人に評議員8名を置く。

【評議員の選任及び解任】

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、法人職員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。

3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

【評議員の任期】

第7条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 棚欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

【評議員の報酬等】

第8条 評議員に対する報酬は、無報酬とする。

第3章 評議員会

【構成】

第9条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

2 評議員会に議長を置き、議長はその都度選任する。

【権限】

第10条 評議員会は、次の事項について決議する。

（1）理事及び監事の選任又は解任

（2）理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準

（3）計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認

（4）定款の変更

（5）残余財産の処分

（6）基本財産の処分

（7）社会福祉充実計画の承認

（8）その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

【開催】

第11条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3か月以内に開催するほか、必要がある場合に開催する。

【招集】

第12条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

【決議】

第13条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかるわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

（1）監事の解任

（2）定款の変更

（3）その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第15条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛